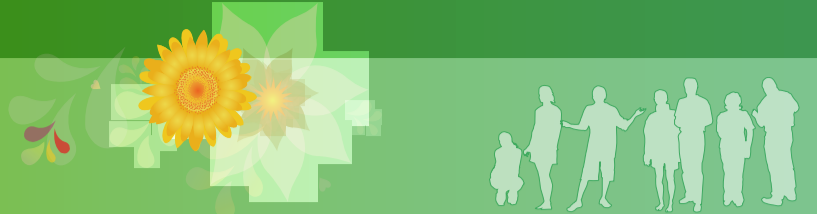


平成27年第4回定例区議会

一般質問 (要旨)



※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。

永田 壮一 (自民)

皇居周辺環境整備について

- 問** 東京五輪開催に向けて、代官町通りをシンボルロードとして整備し、千鳥ヶ淵との回遊性を持たせてはどうか。
- 答** 眺望や文化資源の整備等、個性ある景観創出に努め、回遊性向上を図る。

国際教育について

- 問** 英語教育、国際交流以前に、母国語、自国の文化を大切に発信できるような教育が必要ではないか。
- 答** 自国の文化に誇りを持たせる国際教育の充実に努める。



代官町通り高射砲台座

飯島 和子 (共産)

学校における主権者教育

- 問** ①憲法や平和等の現実課題を取り上げることへの見解は②18歳以上の生徒の政治活動に関する文科省新通知への見解は③請願提出等の実践も有効では④子どもの意見表明権を保障し、主権者教育を推進することが必要。
- 答** ①自己判断で権利を行使できるよう指導が必要②政治的中立性等の観点から制限等は必要③研究する④自ら学校行事等のあり方を考え、意見表明と運営参加の機会を設定するよう配慮。

高齢者の外出支援について

- 問** ①「風ぐるま」の車体大型化によるルート変更等で外出が困難になる人もいる。小型車も併用しては②歩行困難な高齢者にタクシー助成を行っては。
- 答** ①②現時点では考えていない。

小枝 すみ子 (声)

地域コミュニティ活動支援強化

- 問** 地域活動団体の登録手続きを一元化し、相互交流を促すため、区HP等で検索ができるようにしては。
- 答** 各団体が持つHPを区HP上で集約することも含めて検討していく。

軽井沢少年自然の家廃止見直し

- 問** 廃止を前提とした予算措置をやめ、改めて文化とコミュニティの活性化を図るための施設として位置付けるべき。
- 答** 施設設備や地理的な制約で利用が少ない。課題は多いが適切に対応する。



メレーズ軽井沢

牛尾 耕二郎 (共産)

認可保育園、公園の整備を

- 問** ①誰もが希望する保育園に行けることを目標にした整備計画を②神田地域に子どもが遊べる公園の新設を。
- 答** ①多様なニーズに応えられるよう、保育環境整備に取り組む②淡路公園の拡大等、民間の開発事業に合わせて広場空間の確保に取り組んできた。引き続きオープンスペースの確保に努める。

学びへの経済負担の軽減を

- 問** ①高校では就学援助が受けられないが、負担増で進学を諦めることがあってはならない。区の認識は②奨学金は貸与型のものが多い。負担軽減のため、区独自の給付型奨学金制度の創設を。
- 答** ①経済的理由で進学できなくなる事態は避けねばならない②国で給付型制度を実施。区独自の創設はしない。

米田 かずや (公明)

障害者差別解消法について

- 問** 読み書きが困難であることが社会的障壁とならないよう、視覚障害者や高齢者等への支援が必要。民間を交えて読み書き支援の講習会を実施し、積極的に受講を推進すべき。
- 答** 講習会を開催し、広く受講者を募ることは有効。かがやきプラザでの研修メニューとすることを検討する。

難聴者の補聴器活用について

- 問** 補聴器の利用が難聴者の積極的な外出や社会参加を促し、認知症リスク低下につながると考える。普及促進のため、補聴器の購入助成額の引き上げと助成制度の周知徹底を求める。
- 答** 利用状況を分析し、制度の見直しを検討する。医療機関等とも協力し、幅広い周知に努める。

池田 ともり (自民)

「地方創生」への取り組み

- 問** ①地方と共存・共栄・連携を目指す事業について、区独自の施策は②人口増加の傾向にある千代田区で、出産、子育てを含め若い世代が住み続けられる取り組みは。
- 答** ①NPO等の民間団体との協働や自治体間連携により防災、環境、商工観光等の多分野で事業展開している。今後、更に充実させると共に、効果的な手法を検討②待機児童ゼロ対策や放課後対策等の保育環境の整備、子どもの遊び場等の確保や子どもの安全確保等の地域づくり、更に仕事と子育ての両立支援等に取り組んでいく。

